

[第 149 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 6年 4月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 6 年 5 月 11 日 (土) 15時~17時 (今回は第2土曜日)
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.31~
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)
- 懇親会 17時45分~ 場所 丸三旅館 (高島市安曇川町西万木 1045-1)
☎0740-32-1339

参加費 5,000 円★参加いただける方は、5/6 までに田中までご連絡ください。

2024 年 4 月 6 日(土)、安曇川公民館で第 148 回藤樹人間学塾を開きました。今回は、大津からの初参加者を入れて7名でした。

■ 中江藤樹著『鑑草』の余録 陰鷲の後半

■ あらすじ

子がない時に房術や医術等に頼っていても効果は薄い。子を求めるならば、陰徳を行う、即ち世の中の困っている人を救うような行いをすればよい。これを行ったところ、子を得て、その後子孫繁栄した。

■ 配布資料

(1)「まなざし 467 号」、(2)「運命をひらくもの」(致知)、(3)田口佳史・今井博文「繁栄するものと廃れゆくもの」(致知)、(4)山本空外上人の講話「一枚起請文のころ」

■ 今日のポイント

- ・ 求嗣(あとつぎを求める)の方法は、陰徳を施す(仁の心を持って人を救い物をあわれむ)ことが根本である。神仏に祈り医術に頼る方法はその次に行えばよい。
- ・ 徳を「自己の最善を他者に尽くしきる」ととらえる。そうすると相手の心には「ありがとう」という感謝の心が生まれ、お互いが感謝の人間関係で結ばれることになる。(田口佳史)。
- ・ ナムアミダブツの一語にインド仏教一千年の全てが入っている。アミタが根本、中心。私どもが命の根源である天地大宇宙の命につながっている、その深さ、浄らかさを味わえるならば人間はどんなに貧乏でも病気でも、一番幸せな身の上になる。(山本空外上人)。

■ フリートーキング

- ・ 「成功のコツは、継続力。天才は努力を継続する能力を持つ人。守破離という言葉があり、何事も一足跳びに行けないのでコツコツ努力したい」
- ・ 「藤樹先生は、女性に夫が亡くなったときに他家に嫁ぐことを戒めていたのに、なぜ自身が亡くなる時に妻を再婚させようとしたのか」→若くて美人の妻、布里の将来を慮った先生の深い愛情で、先生の教えの神髄が現れていると思う。

他、いろいろなお意見をいただきました。

学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。

